

かほく

ワークシート

問題

新聞記事でよく目にする、片仮名かたかなで書かれている「カタカナ語」。でも、片仮名だからといって、その言葉が全部英語とは限りません。英語以外の外国語の場合、和製英語わせいごや造語ぞうごもあるので要注意。この記事で確かめてみましょう。

- ①片仮名を○でくくりながら記事を読みましょう。
- ②英語ではない言葉を抜き出し、何語か調べてみましょう。
- ③なぜ片仮名が使われるのかを話し合しましょう。

(小、中、高校生/英語)

出題者から

今や新聞記事も「カタカナ語」抜きでは書けません。しかし、全て英語とは限らず、たとえば「アルバイト」はドイツ語、「アンケート」はフランス語です。政治・経済面では「ガイドライン」「コンソーシアム」「インバウンド」といった片仮名言語が多用されていますが、日本人には「指針」「共同事業体」「訪日外国人旅行者」と日本語で書いた方がいいのではないのでしょうか。今回の問題がそんなことを考えるきっかけになればと思います。

(日本新聞協会NIEアドバイザー・名取北高英語科教諭 大槻欣史)

仙台大衆舞踊団
ダンス公演 仙台、石巻
約40人が出演する「仙台大衆舞踊団」の稽古をする出演者



「仙台大衆舞踊団」の稽古をする出演者

衆舞踊団2019「アバンギャルド」が16日、仙台市泉区のイズミティ21である。

仙台市のダンス公演制作団体「RaaiKen」の主権。路上に倒れていた若い女性の身元特定のキーワードは「アバンギャルド」。サスペンス仕立てで、「前衛芸術とは何か」をコミカルに表現する。ジャズやヒップホップなど20曲以上のダンスを披露する。

RaaiKenの木村由美子代表は「ユーモアにあふれた物語と、多彩なダンスを楽しんでほしい」と話す。

午後5時開演。前売り指
定席1500円、自由席1000円。当日は自由席のみ1500円。RaaiKen022(275)5145。

11月24日こども新聞かほくワークシート模範解答

新聞記事でよく目にする、片仮名で書かれている「カタカナ語」。でも、片仮名だからといって、その言葉が全部英語とは限りません。英語以外の外国語の場合、和製英語や造語の場合もあるので要注意。この記事で確かめてみましょう。

① 片仮名を○でくくりながら記事を読みましょう。

ダンサー（踊る人、舞踏家）

アバンギャルド（フランス語：20世紀初頭にヨーロッパで起きた既成の通念を否定し未知の表現領域を開拓しようとした芸術家や芸術運動）

イズミティ（造語：仙台市泉文化創造センターの通称）

キーワード（かぎとなる語）

サスペンス（先がどうなるかという緊張感・興奮）

コミカル（こっけいな、おどけた）

ジャズ（強いリズムやビートで奏でられる音楽の一種）

ヒップホップ（一定のビートとラップなどを取り入れたダンス音楽）

ユーモア（滑稽、おかしさ）

② 英語でない言葉を抜き出し、何語か調べてみましょう。

アバンギャルド（フランス語）

イズミティ（造語）

③ なぜ片仮名が使われるのかを話し合いましょう、

模範解答なし